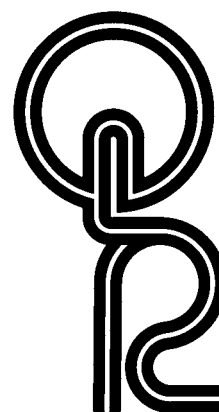
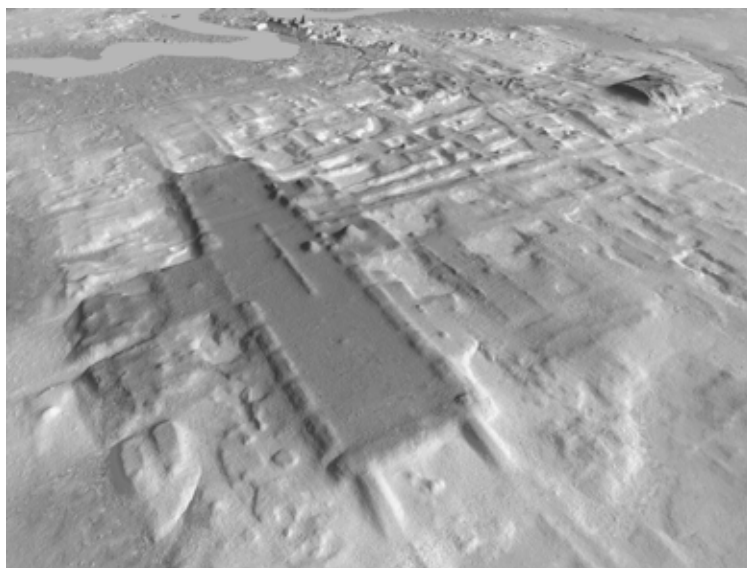


# QR Newsletter



## 第四紀通信

Vol. 27 No.4, 2020



メキシコの Aguada Fenix 遺跡で見つかったマヤ文明で最古最大の建造物の 3D イメージ。LiDAR 技術で南北 1.4 km、東西 400m、高さ 15m の大基壇の存在が明らかになった。発掘調査と放射性炭素年代測定により、紀元前 1000 年に建築が始まり、200 年かけて増改築されたことが判明した（提供：猪俣 健）。

---

Vol. 27 No. 4

August 1, 2020

---

2020 年度総会・評議員会と参加登録 のお知らせ..... 2	2020 年度会費の減免について..... 5
2020 年大会に関するアンケートにつ いて..... 3	執行部会議事録..... 5
2020 年学術賞・若手学術賞・論文賞・ 功労賞受賞者決定..... 3	評議員会議事録..... 6
	地質標本館特別展のお知らせ..... 7
	会員消息..... 8

---

## ◆日本第四紀学会 2020 年度第 1 回総会・評議員会とその参加登録のお知らせ

例年、総会・第 1 回評議員会は年度初めの 8 月頃に開催される大会中に実施しています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症リスクの影響のため、対面参集する大会がすぐに開催できる状況になく、2020 年度最初の総会および評議員会を web 会議システムの Zoom を用いたオンライン会議にて開催することとしました。会員の皆様には、ご参加をお願いします。また、参加できない会員・評議員の皆様には、委任状の提出をお願いします。総会終了後には、引き続きオンライン表彰式を行います。

オンラインでの総会・評議員会への参加には web 上から登録が必要です。同じサイトで委任状の提出もできるようになっています。また、大会開催に関するアンケートも同時に行っています(次ページ参照)。登録サイトには、日本第四紀学会のホームページ(<http://quaternary.jp/>) トップページにある「会員マイページ」内から入ることができます。8 月 1 日頃から登録ができるようにします。8 月上旬に会員メーリングリストでも再度案内します。

- 評議員会日時 2020 年 8 月 28 日(金) 14:00～16:00  
総会日時 2020 年 8 月 29 日(土) 14:00～16:00 (オンライン表彰式を含む)

### ●会員マイページに入る方法

第四紀学会ホームページトップにある「会員マイページ」ボタンをクリックし、会員 ID 番号(会誌が入った封筒の会員宛名の下に書かれている 10 桁の数字)とパスワードを入力し、ログインしてください。パスワードをお忘れの方は、会員マイページの「パスワードをお忘れの方へ」のところをクリックして、会員 ID 番号と登録された電子メールアドレスを入力して送信すると、登録されたメールアドレスにパスワード変更用のアドレスが送信されます。

「会員マイページ」に入ったら、お知らせ欄にある「2020 年度第四紀学会総会・評議員会参加登録と大会アンケート」を開いて、そこにある説明に従って登録ください。

なお、会員マイページは、今後、同様のオンライン会議の参加登録や役員選挙、公開情報の閲覧などの目的で何度も使用することになりますので、会員 ID 番号とパスワードは各自で控えておいていただくようにお願いします。

### ●委任状提出の仕方

総会・評議員会に参加しない方は、委任状の提出をお願いします。上記会員マイページ内の関係サイトから申請ください。どちらの委任状も議決権を議長に委任するか、委任する会員(評議員)の名前を書くようになっています。ただし、参加する会員(評議員)は、それぞれ 1 名の欠席する会員(評議員)からしか委任を受けることができませんので、ほかに委任を受けていないかご本人に確認をしてください。

### ●参加登録の締め切り

総会・評議員会の参加登録・委任状提出、アンケートの提出締め切りは、8 月 17 日(月) 24:00 とします。

### ●オンライン会議参加者への連絡

参加登録された会員・評議員には、会議の数日前に、登録されたメールアドレス宛、会議の URL、ID、パスワードを連絡します。また Zoom の接続テストを事前に行います。これもメールにて連絡します。Zoom の接続の仕方などの説明は、「会員マイページ」内に用意しておきます。

### ●総会・評議員会資料

総会・評議員会資料は、8 月 25 日頃に「会員マイページ」内に pdf で公開する予定です。

- 不明な点は庶務委員会 ([shomu@quaternary.jp](mailto:shomu@quaternary.jp)) までメールにてお問い合わせください。

## ◆ 2020年大会の開催についてのアンケートのお知らせ

2020年大会はオンラインでの開催を検討しています。その参考にするため、会員へアンケートを行います。アンケートは「会員マイページ」内での「2020年度第四紀学会総会・評議員会参加登録と大会アンケート」にて実施します。オンラインの大会は、無料ではなく発表者・参加者には会議システムにかかる費用を負担いただく予定です。今のところ、1000円から3000円を想定しています。なお、2021年夏の大会は、大阪での通常の大会を予定しています。

## ◆ 2020年日本第四紀学会 学術賞・若手学術賞、論文賞、功労賞 受賞者決定

日本第四紀学会では、学会賞、学術賞、若手学術賞、論文賞、奨励賞、功労賞を設け、顕彰を行っております。2020年の各賞の選考が行われ、受賞者が決定されましたのでご報告致します。

学会賞は第四紀学の発展に貢献した顕著な業績を有し、また日本第四紀学会の活動に著しい貢献があった正会員に授与される、学会における最高の賞です。学術賞は第四紀学に貢献した優れた学術業績をあげた正会員に授与されます。若手学術賞は、国際誌等を通じて第四紀学に貢献した優れた論文を発表した若手会員（選考が行われる当該年の4月1日時点で39歳以下の会員）に授与される賞です。会員から各賞の受賞者候補者の推薦・立候補を受け付け、1月31日をもって締め切られました。その後、学会賞選考委員会（委員長：齋藤文紀、副委員長：竹村恵二、委員：小野 昭、中村俊夫、山崎晴雄）によって学術賞候補者1名、若手学術賞候補者1名が推薦され、7月9日に行われた評議員会において、下記の通り受賞者が決定されました。

### ●日本第四紀学会学術賞

受賞者：北村晃寿会員

受賞件名：「貝化石・有孔虫化石の複合群集解析による日本本島の島嶼化過程および東海地震の履歴の研究」

### ●日本第四紀学会若手学術賞

受賞者：平林頌子会員

受賞論文1

題名：「Local marine reservoir age variability at Luzon Strait in the South China Sea during the Holocene」

雑誌名：Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms, 455, 171-177. doi: 10.1016/j.nimb.2018.12.001

著者：Shoko Hirabayashi, Yusuke Yokoyama, Atsushi Suzuki, Tezer Esat, Yosuke Miyairi, Takahiro Aze, Fernando Siringan, and Yasuo Maeda

受賞論文2

題名：「Insight into Western Pacific Circulation from South China Sea Coral Skeletal Radiocarbon」

雑誌名：Radiocarbon, 61, 1923-1937. doi: 10.1017/RDC.2019.145

著者：Shoko Hirabayashi, Yusuke Yokoyama, Atsushi Suzuki, Yosuke Miyairi, Takahiro Aze, Fernando Siringan, and Yasuo Maeda

## 学術賞等受賞者

論文賞及び奨励賞は、会誌「第四紀研究」に掲載された第四紀学の発展や進歩に貢献する優れた論文を公表した会員を含む著者に授与されるもので、とくに奨励賞は若手研究者（会員）の育成と研究奨励に寄与することを目的としています。会員から候補者（候補論文）の推薦・立候補を受け付け、1月31日をもって締め切られました。その後、論文賞選考委員会（委員長：池原 研、委員：紀藤典夫、黒木貴一、宍倉正展、長橋良隆）によって、論文賞候補論文2件が推薦され、7月9日に行われた評議員会において、下記の通り受賞者が決定されました。

### ●日本第四紀学会論文賞

受賞論文題目：河成段丘面の比高分布から推定される伏在断層の活動性—2008年岩手・宮城内陸地震震源域直上の磐井川を例に一。第四紀研究、第58巻、5号、p.315-331, 2019

著者名：後藤憲央・佐々木俊法

受賞論文題目：更新統塩原層群宮島層における湖成年縞堆積物に挟在するイベント堆積物の特徴とその識別方法—側方変化を考慮した堆積過程の検討—。第四紀研究、第58巻、2号、p. 237-249, 2019

著者名：佐々木 華・大西由梨・石原与四郎

功労賞は、第四紀学について多大な貢献のあった者や団体・組織、あるいは、日本第四紀学会に関係した活動に貢献のあった者および INQUA の委員、日本学術会議の INQUA 関連委員などを務めるなど日本の第四紀学に貢献があった者に授与される賞であり、2年ごとに選考が行われます。今回は、名誉会員選考委員会（委員長：奥村晃史、委員：岡崎浩子、公文富士夫、百原 新、米田 穰）から候補者が推薦され、7月9日に行われた評議員会において、下記の通り受賞団体・受賞者が決定されました。

### ●日本第四紀学会功労賞

受賞団体：Chiba composite section research community\*

受賞者：井内美郎会員、小野有五会員

\* 構成メンバー（ABC 順、敬称略）

羽田裕貴、林 広樹、本郷美佐緒、堀江憲路、兵頭政幸、五十嵐厚夫、入月俊明、石塚 治、板木拓也、泉 賢太郎、亀尾浩司、川又基人、川村賢二、木村純一、小島隆宏、久保田好美、中里裕臣、西田尚央、岡田 誠、荻津 達、奥田昌明、奥野淳一、里口保文、仙田量子、紫谷 築、Quentin Simon、末吉哲雄、菅沼悠介、菅谷真奈美、竹下欣宏、竹原真美、渡邊正巳、八武崎寿史、吉田 剛

### ◆ 2020 年度会費の減免について

2020 年度会費の請求書は 2020 年 8 月下旬に送付予定ですが、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な負担が大きい会員には、2020 年度会費を減免します。

- (1) 正会員のうち学生・院生として登録している会員（学生または院生として新入会あるいは継続届を提出した者）
  - ➔ 会費を免除します。該当する方々には、2020 年度の会費請求書は郵送されません。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に対する自粛等にもない収入が著しく減少した正会員
  - ➔ 減免を受けるためには、国や地方自治体等の支援金・補助金等（1 人当たり 10 万円の特別定額給付金を除く）を受給したことがわかる書類等証拠となるものを添付の上、2021 年 1 月末までに学会事務局に申請してください。それを会計委員会にて審査し、半額あるいは全額を免除します。該当する方は減免申請の返答を待ってから会費を納入くださいますようお願い申し上げます。

### ◆ 日本第四紀学会 2019 年度第 6 回執行部会議事録

日 時：2020 年 7 月 2 日（日）9:00～12:30

方 法：Zoom を使ったオンライン会議

出席者：齋藤文紀（会長）、鈴木毅彦（副会長）、  
高原 光（副会長）、水野清秀（庶務）、  
齋藤めぐみ（会計）、北村晃寿（編集）、  
藤原 治（行事）、白井正明（広報）、  
小荒井 衛（渉外）、横山祐典（領域 1）、  
奥村晃史（領域 2）、里口保文（領域 3）、  
工藤雄一郎（領域 4）

オブザーバ：久保田好美（庶務委員会）

#### 主な報告事項

- (1) 転載許可申請 1 件を承認した。
- (2) 学会賞選考委員会により 2020 年学術賞・若手学術賞候補者が選考された。
- (3) 論文賞選考委員会により 2020 年論文賞受賞候補論文が選考された。なお、推薦依頼の周知や規程と内規との間の齟齬等について、選考委員会から指摘があり、執行部会で検討した。
- (4) 名誉会員候補者選考委員会により 2020 年名誉会員候補者及び功労賞候補者が選考された。
- (5) 第四紀研究第 59 巻第 3 号（受賞記念論文 1 編）を刊行した。また第四紀研究第 59 巻第 4 号（論説 1 編・書評 1 編）の印刷工程中。
- (6) 7 月 2 日現在、第四紀研究受理済み原稿（書

評を除く）は 1 編（59 巻第 5 号に掲載）、手持ち原稿は論説 9 編、短報 1 編、総説 1 編、解説 1 編である。

(7) 2020 年大会については、年末に対面とオンライン併用で実施する方向で検討していたが、オンライン開催のみにする、受付などを業者に委託する可能性なども検討した。会員にアンケートを実施して判断することにした。

(8) 第四紀通信 27-3 号を発行した。

(9) JpGU-AGU Joint Meeting 2020Virtual は第四紀の DFS が 7 月 14 日午前で、iPoster 発表者による 3 分ショート・プレゼンテーションとした。

(10) 防災学術連携体の第 1 回 WEB 研究会が 6 月 23～24 日に実施された。総会報告や第 2 回 WEB 研究会が 7 月 15 日に開催予定。

(11) Anthropocene に関するシンポジウムを計画中である。

#### 審議事項

(1) 論文賞の受賞者は会員のみとする顕彰規程に基づき、論文賞・奨励賞選考に関する内規の「執筆者一同に論文賞を授与する」という表現を「会員の執筆者一同に授与する」に改訂する提案をすることにした。

(2) 各選考委員会のスケジュール、手順、選考方法

などをまとめたマニュアルを作成することにした。

(3) 名誉会員候補者選考規程では、名誉会員候補者の条件の一つである年齢 70 歳以上、会員歴 20 年以上がいつの時点か不明であるため、「選考が行われる当該年の 4 月 1 日時点」とする改訂案を提案することにした。

(4) 2020 年度総会をオンラインにて行い、時期を 8 月 29 日とすることを評議員会に提案することとした。総会参加者は登録制とし、ゲーグルフォームを用いて web 上で登録する。委任状や評議員会への参加・委任状も同じフォームを用いることにする。総会資料は数日前までに会員マイページ内で公開することにした。

(5) 大会については、対面参集かオンラインか、参加・発表するかなどのアンケートを web 上で行い、その結果をもとに 8 月下旬までに方法を確定して、評議員会に諮ることにした。

(6) 総会や学術講演会などが大会時に同時に開催できない場合が生じるため、大会を各年度に 1 回以上行えるよう、大会運営規程の改訂を提案する

ことにした。

(7) 新型コロナウイルス感染症の影響による会員の経済的な負担を考慮し、2020 年度会費について、正会員のうち学生・院生で登録している会員については全額免除とし、その他の正会員については、収入が著しく減少したことを示す証拠書類を添付の上申請したのに対して会計委員会が減免を判断する提案を評議員会に諮ることとした。

(8) これまで出版していた会員名簿を廃止し、会員情報のうち公開可としたものを会員マイページから会員限定で閲覧できるシステムに代える案を評議員会・総会に提案することにした。

(9) オンラインでの会議や講演会が増えてくることに対応するため、学会で専用アプリのライセンスを購入し、その管理を行うことにした。担当者として庶務委員会、行事委員会に各 1 名委員を追加することにした。

(10) 2020 年度の学会賞選考委員会、論文賞選考委員会、選挙管理委員会の委員を早めに決めておくことにした。

### ◆ 2019 年度第 3 回電磁的な評議員会議事録

新型コロナウイルス感染リスクのため、参集しての大会の開催は断念せざるをえないとの結論に至った。今年の大会の計画変更に関して、2020 年 5 月 13 日～5 月 17 日の期間に第 3 回電磁的な評議員会を開催し、34 名から回答を得て、賛成多数により以下のことが承認された。

1. 2020 年度総会および 2020 年大会は、延期を含めて別の方法により開催する。
2. 総会及び大会の開催については、方法、会場、開催日を今年度内（今年 7 月末まで）に至急検討する。

◆産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質標本館 特別展  
「祝チバニアン誕生！—国際境界模式層と地磁気の逆転とは？—」

開催場所：産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質標本館 1階ホール  
会 期：2020年7月7日（火）～8月30日（日） 毎週月曜日休館（休日の場合は翌平日）  
開館時間：9時30分～16時30分  
協 力：茨城大学理学部、国立極地研究所

[https://www.gsj.jp/Muse/exhibition/archives/2020/2020\\_chibanian.html](https://www.gsj.jp/Muse/exhibition/archives/2020/2020_chibanian.html)

チバニアンってなに？地磁気の逆転ってなに？などを、パネル、ビデオ、実物展示で分かりやすく解説しています。

※地質標本館の見学には新型コロナ対策のために事前予約を頂いています。



下記から展示解説のブックレットのPDFをダウンロードできます。

[https://www.gsj.jp/Muse/exhibition/archives/src/2020chibanian\\_booklet.pdf](https://www.gsj.jp/Muse/exhibition/archives/src/2020chibanian_booklet.pdf)

★★★ 第四紀学会に情報をお寄せください ★★★

日頃から日本第四紀学会のコミュニティへ情報提供くださり、ありがとうございます。  
提供された情報の円滑な配信を目指して、広報委員会から皆様へ、以下のお願いを致します。

- (1) 情報発信の手段として、メーリングリスト (ML) の積極的な使用をお願いします。
  - 1) メール本文に配信内容のタイトルと簡単な情報を書いて広報委員会アドレス (jaqua-koho(at)quaternary.jp) へご投稿ください。  
メール本文の情報は常識的な長さでお願い致します。
  - 2) 広報委員会にて文言の微修正を行う、または投稿した方に情報の修正・追加をお願いすることがあります。
  - 3) イベント等の周知などで当該イベントの URL がある場合、その URL も載せてください (ただし上記の通り、メール本文にも簡単な情報も載せるよう、お願い致します)。
  - 4) 第四紀学にほとんど関連しないものについては配信をお断りすることがあります。
  - 5) 学会、研究会のお知らせでも、第四紀学会の会員間で参加費等に不平等が生じるものは配信しませんので、ご了承ください。
  - 6) 添付ファイルは ML に配信致しません。
- (2) 第四紀通信への掲載依頼、日本第四紀学会ホームページへの掲載依頼も受け付けておりますが、基本的に、「主催・後援イベント」など第四紀学会として会員に広く周知する必要があると認められる情報、「公募・助成」情報 (こちらはホームページのみの掲載となります) 等に限られます。詳しくは広報委員会アドレス宛に、個別にご相談ください。
- (3) 第四紀通信は偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報をなるべく早く皆様にお届けできるように、奇数月下旬に版下が完成した段階でホームページに掲載していますので、ご利用ください。

日本第四紀学会広報委員会：白井正明・オブラクタ スティーブン フィリップ・兵頭政幸・那須浩郎・植木岳雪  
広報書記：岩本容子・奥村公弥子

日本第四紀学会ホームページ (<http://quaternary.jp/>) から第四紀通信バックナンバーの PDF ファイルを閲覧できます。

日本第四紀学会事務局  
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル  
株式会社春恒社 学会事業部内  
E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com 電話 : 03-5291-6231 FAX : 03-5291-2176